

発 日 監 第 2 1 号  
平成30年12月19日

日 南 町 長      中 村 英 明      様  
日南町議会議長      村 上 正 広      様

日南町監査委員 藤森 高善

日南町監査委員 近藤 仁志

平成30年度定期監査（第1回）の結果について

地方自治法第199条第4項の規定により実施した監査の結果に関する報告を、同法同条第9項の規定に基づき、次のとおり提出します。

なお、同条第12項の規定により、当該監査の結果に基づき又は当該監査の結果を参考として措置を講じたときは、その旨を監査委員まで通知してください。

## 平成30年度定期監査（第1回）の結果

### 1. 監査の期間

平成30年10月23日

### 2. 監査を実施した事項

平成30年度（第1回）は、特に次の点について監査を行った。

#### (1) 出納室

- ・クレジット収納の状況について

#### (2) 総務課

- ・【繰越】平成29年度日南町統一的な基準による地方公会計制度導入支援業務
- ・森林の恵み館エアコン更新
- ・自衛消防団用可搬ポンプ購入 B-3級 2台

#### (3) 企画課

- ・新元号への対応方法とスケジュールについて
- ・Nutanix 増強に伴う機器導入業務
- ・日南町 T-NET 支障移転工事（砥波支 10 号他）
- ・ホテル観光振興事業の実績及び収支

#### (4) 住民課

- ・新元号への対応方法とスケジュールについて
- ・日南町住宅改修助成事業の活用状況
- ・国民年金システム電子媒体化対応業務
- ・【繰越】新石見小水力発電所導水路復旧工事（2工区）

#### (5) 福祉保健課

- ・新元号への対応方法とスケジュールについて
- ・生活困窮者家計相談事業
- ・介護福祉人材育成奨学金、介護福祉人材支度金の活用状況

#### (6) 農業委員会

- ・農業委員・農地最適化推進委員の活動状況

### (7) 農林課

- ・ワイヤーメッシュ柵購入
- ・【繰越】平成29年度町有林皆伐新植事業（大原工区）
- ・林業アカデミー建設工事

### (8) 建設課

- ・【繰越】町道大谷線舗装修繕工事（2工区）
- ・【繰越】町道大宮南線（南橋）橋梁修繕工事（2工区）
- ・【繰越】町道原市場線（市場橋）橋梁塗装工事
- ・【繰越】町道宮田飛時原線道路災害復旧工事

### (9) 教育課

- ・日南中学校教職員用パソコン更新事業
- ・【繰越】日南町体育館解体工事
- ・婚姻奨励事業の実施状況
- ・企画展「佐武林蔵と近代巨匠の画家たち」にかかる委託料

## 3. 監査の範囲及び方法・結果について

監査項目のうち工事関係及び委託関係事業については、事前に監査調書作成を求めた。提出された監査調書の項目に基づき、担当課長・担当職員に説明を受け、監査委員が起案文書、入札関連書類及び契約書類等の調査をするなどの方法により実施した。

なお、監査調書作成を行わない監査項目については、事務事業の実施内容等を監査委員が担当課長・担当職員から聞き取りをするなどの方法により実施した。

監査の結果、おおむね適正に処理されているものと認められたが、次の事項については、改善の検討や適正処理をされるよう要望する。

なお、指摘するには至らなかったが、監査を執行するなかで、改善・検討を要する事項については、その旨指示した。

### (1) コンピュータシステムの新元号対応業務について

来年5月1日から新元号が施行されることが決定となり、それに伴うコンピューターシステムの改修費が予算計上されている。業務の進捗状況について各課ごとに聞き取りを行ったが、それぞれに温度差がありスムーズに移行できるか不安を感じた。

システム改修は業者に委託する部分が多い訳だが、その契約状況等については「業者からは対応できると聞いている」と報告する課もあった。新元号の公表日はいまだ流動的であり、その対応期間は限定され、多忙を極めると予想される。早急に改修スケジュールを決定、共有され、確認業務を怠ることなく、主体性を持って準備されたい。

## (2)観光振興対策事業について

ホテル観光振興事業の実績報告書では、事業収支はもとより、来場者数やシャトルバス利用者等のデータ記録と分析が行われ、事業効果と今後の取り組みに向けた課題も分かりやすく整理・検証されており高く評価する。

交流人口の増加に向け観光振興対策は不可欠な事業であるが、その事業効果についての分析がおろそかになる傾向にあった。観光振興対策事業は町観光協会が実施主体となるものや、地域団体等への助成事業として行うものなど実施方法は異なるが、いずれの事業においても、補助金、助成金の交付にあたっては、事業収支だけではなく、事業目的の図表化や目標の数値化を事業計画書に定め、実績報告書にてその効果と課題を検証し、更に魅力ある観光事業として取り組んでいただきたい。